

卒業生へのアンケート

<仕事>

1 職場でほめられたこと

一般就労している卒業生		福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生	
・遅刻、欠勤がない (14)	13%	・遅刻、欠勤がない (13)	12%
・挨拶、返事が良い (13)	12%	・仕事が正確 (13)	12%
・真面目、誠実、素直 (12)	11%	・仕事が速い (12)	11%
・仕事が速い (11)	10%	・働く意欲がある (10)	9%
・働く意欲がある (10)	9%	・真面目、誠実、素直 (9)	8%
		・指示を理解できる (9)	8%

⇒一般就労、福祉的就労・進学で共通して多かったのは「遅刻、欠勤がない」「真面目、誠実、素直」「働く意欲がある」「仕事が速い」の4項目で、「働く意欲があり、遅刻・欠勤がなく真面目に働いている」という点については、進路先へのアンケートにおいても同様の結果が得られている。

2 職場で注意されたこと

一般就労している卒業生		福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生	
・仕事が正確にできない (6)	27%	・質問、確認ができない (4)	17%
・質問、確認ができない (3)	13%	・報告、相談ができない (3)	13%
		・仕事が遅い (3)	13%
		・身だしなみ (3)	13%

⇒注意されたことは「仕事が正確にできない」「質問、確認ができない」などであるが、ほめられたことに比べて回答数が少なかった。「注意されたこと」ではなく「現在の自分の課題は何か」という質問であれば回答数が増え、一般企業や福祉サービス事業から見た本人の課題と、本人の認識が一致しているのか、ずれがあるのかを確認することができたのではないかと考える。

3 職場や仕事に関する悩み ※一般就労している卒業生への質問

・特になし (23)
・ある (7)

⇒「悩みがある」の内容は、「ボーナスがない」「残業が多い」「注意されることが多い」など

4 働き始めて大変だったこと ※一般就労している卒業生への質問

<仕事> ・実習ではしなかった仕事を覚えるのに時間がかかった、仕事を覚える、仕事に慣れる (8) ・指示されたことが分からないときがある (2) ・時間内に終わらせなければならぬため、正確性と迅速さが求められる (2) ・人に教えるときに、相手に分かるように説明するのが難しい ・自分の仕事をしながら周りを見ること ・自分優先ではなく、お客様優先で行動すること ・残業がとても多い <コミュニケーション、人間関係> ・上司との会話、職場の人と話すこと (2) ・相談できる人を探すこと ・気が合わない人がいること ・異動のときに環境の変化に慣れること
--

5 仕事で困ったときや悩みがあるときに誰 (どこ) に相談するか

一般就労している卒業生	福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生
・家族 (25)	・家族 (16)
・職場の人 (13)	・福祉サービス事業所の人 (17)
・友達 (7)	・友達 (3)
・相談支援センターなど (3)	・相談支援センターなど (6)

⇒「家族」が多いが、福祉サービス事業所を利用している卒業生は、事業所の方に相談することができている。

6 これからも今の職場や福祉サービス事業所で働きたいか

一般就労している卒業生	福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生
・ 思う (21) ・ 思わない (3) ・ 分からない (5)	・ 思う (20) ・ 思わない (3) ・ 分からない (3)

⇒「思う」が圧倒的に多かった。

⇒「思う」と答えた一般就労の卒業生にその理由を聞いたところ、職場の人が気さくに話し掛けてくれる、職場が明るく雰囲気がよい、職場に相談できる人がいる、周りの人から頼りにされていると思うなど、「職場での人間関係が良好であること」が一番多く、「楽しい」「やりがいがある」「給料がよい」と続いている。福祉的就労の卒業生も、楽しい、通いやすいに続いて「みんなと仲が良い、友達と仕事がしたい」が挙げられている。

⇒「思わない」理由としては、一般就労の卒業生は「やりがいがない」「何のために仕事をしているのか分からなくなった」「ボーナスがない、給料が安い」「残業が多い」など、福祉的就労の卒業生は「負担が大きい」「ストレスを抱えている」「一般就労を目指している」となっている。

<生活・余暇>

1 現在の生活の場

一般就労している卒業生	福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生
・ 自宅 (27) ・ アパート (1) ・ グループホーム (1) ・ その他 (2)	・ 自宅 (27) ・ グループホーム (3)

2 将来どこで生活したいか

一般就労している卒業生	福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生
・ 自宅 (5) ・ アパートで一人暮らし (13) ・ グループホーム (2) ・ まだ考えていない (11)	・ 自宅 (8) ・ アパートで一人暮らし (5) ・ グループホーム (5) ・ まだ考えていない (11)

⇒現在は、自宅で親と生活している人がほとんどだが、将来的にはアパートでの一人暮らしやグループホームでの生活を考えている人も多い。一方、「まだ考えていない」という人も多い。

3 余暇の過ごし方

一般就労している卒業生	福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生
・ 買い物 (18) ・ カラオケ、ダーツ、商業施設で遊ぶ (9) ・ 映画 (4) ・ コンサートやライブ (3) ・ 運動、サイクリング、散歩 (10) ・ スポーツ観戦 (1) ・ 友達と会う (9) ・ 音楽鑑賞、YouTube、DVD 鑑賞 (9) ・ 絵を描く、料理、物づくりなど (8) ・ ゲーム、スマホ (6) ・ 旅行 (1) ・ 資格勉強 (1)	・ 買い物 (17) ・ カラオケ (5) ・ 映画 (6) ・ コンサートやライブ (3) ・ 運動 (3) ・ スポーツ観戦 (3) ・ 友達と会う (3) ・ 音楽鑑賞、YouTube、DVD 鑑賞 (10) ・ 絵を描く、料理、物づくりなど (8) ・ ゲーム、スマホ (2) ・ ドライブ (1) ・ カフェに行く (1)

4 仕事以外で外出するときは誰と行くか

一般就労している卒業生	福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生
・ 家族 (22) ・ 職場の人たち (1) ・ 学生時代の友人 (7)	・ 家族 (23) ・ 職場の人たち (2) ・ 学生時代の友人 (1)

・一人（11） ・ほとんど外出しない（4）	・一人（10）
--	---

⇒「家族と外出する」が一番多く、「一人で外出」と続く。

5 現在の生活で困っていること

一般就労している卒業生	福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生
・特になし、満足している（21） ・コロナの影響で家で過ごすことが多い ・友達を誘えない、誘われない ・趣味がない ・生活費、貯蓄する余裕がない ・朝、出る時間が早い	・コロナの影響で自由に出歩けない ・一人でできることが少ない、一人で出かけられない（2） ・家族とのこと ・健康面

⇒一般就労している卒業生からは、「特にない」という回答が多かった。また、感染症流行による生活の制限についての記述がいくつかあった。

6 将来の生活について心配なこと

一般就労している卒業生	福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生
・お金のこと、貯金、生活費（4） ・一人暮らし、自立した生活（4） ・グループホームの生活に慣れること ・交友	・うまくお金が使えるか、お金の管理（5） ・食事、一人での料理（2） ・一人で生活できるか（2） ・グループホームでうまく暮らせるか（2） ・書類の記入

7 家族や職場以外で相談できる場所はあるか

一般就労している卒業生	福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生
・ある（11） ・ない（16） ・どこに相談したらよいか分からない（3）	・ある（11） ・ない（7） ・どこに相談したらよいか分からない（7）

<千歳高等支援学校で学んだこと>

1 国語の学習で役に立ったこと

一般就労している卒業生	福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生
・自己紹介（10） ・目標、抱負（8） ・書類の書き方（8） ・敬語の使い方（16） ・メモのとり方、活用（9） ・説明の仕方、工夫（6） ・礼状、年賀状、手紙の書き方（4） ・作文（3） ・プレゼンテーション、発表（1） ・俳句、詩（0） ・物語、説明文、伝記（2） ・ことわざ（0） ・電話の使用（11） ・伝言（7）	・自己紹介（10） ・目標、抱負（6） ・書類の書き方（4） ・敬語の使い方（14） ・メモのとり方、活用（6） ・説明の仕方、工夫（2） ・礼状、年賀状、手紙の書き方（5） ・作文（1） ・プレゼンテーション、発表（2） ・俳句、詩（1） ・物語、説明文、伝記（1） ・ことわざ（2） ・電話の使用（10） ・伝言（2）

⇒一般就労、福祉的就労ともに、「自己紹介」「敬語の使い方」「電話の使用」の3項目が多かった。

2 数学の学習で役に立ったこと

一般就労している卒業生	福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生
・ <u>計算 (19)</u> ・ 少数、分数 (2) ・ 文章問題 (2) ・ <u>時間と時刻 (14)</u> ・ 支払いとおつり (9) ・ 計算機の使い方 (6) ・ レシートの見方 (5) ・ お小遣い帳の付け方 (6) ・ 消費税の計算 (8) ・ <u>給与明細の見方 (10)</u> ・ いろいろな支払い方法 (5) ・ 長さ、重さ (6) ・ 図形 (2) ・ 表とグラフ (1)	・ <u>計算 (13)</u> ・ 少数、分数 (2) ・ 文章問題 (0) ・ <u>時間と時刻 (15)</u> ・ <u>支払いとおつり (9)</u> ・ 計算機の使い方 (6) ・ レシートの見方 (5) ・ お小遣い帳の付け方 (4) ・ 消費税の計算 (2) ・ 給与明細の見方 (2) ・ いろいろな支払い方法 (3) ・ 長さ、重さ (7) ・ 図形 (2) ・ 表とグラフ (1)

⇒一般就労、福祉的就労ともに「計算」「時間と時刻」の2項目が多く、支払いとおつり、計算機の使い方、レシートの見方、消費税の計算など、お金に関する学習が続いた。

⇒一般就労している卒業生は「給与明細の見方」が多かった。

3 国語、数学以外の学習で役に立ったこと

一般就労している卒業生	福祉サービス事業所を利用・進学している卒業生
・ <u>挨拶、返事 (4)</u> ・ <u>言葉遣い (2)</u> ・ <u>人との関わり方、積極的にコミュニケーションをとること、職場の人と話ができるようになったこと (5)</u> ・ 相談すること (3) ・ 分からないことは聞くこと (2) ・ 素直に話を聞くこと ・ 礼儀、集中力、忍耐力 ・ 個性 ・ 担任の先生の話 ・ <u>清掃のやり方、木工や畑作業の知識、作業内容を理解すること、実習 (8)</u> ・ <u>職業の授業、進路決定の方法 (3)</u> ・ <u>長時間働ける体力がついた (8)</u> ・ 漢字を使って書類が書けるようになった ・ 情報でのエクセル ・ 美術でのカメラを使った授業が趣味になった	・ <u>挨拶 (3)</u> ・ <u>仕事中の言葉遣い、敬語の使い方 (2)</u> ・ <u>人との関わり方、人との距離のとり方、仲間と協力すること (3)</u> ・ 話を聞く力、話す力 ・ 集中力 ・ 素直さ ・ 公共でのマナー ・ 明るく意欲的になった (2) ・ 生活リズム ・ 公共交通機関の利用、通勤 (2) ・ <u>清掃のやり方、窓清掃、除草、除雪、即売会、正確な作業、実習 (8)</u> ・ <u>体力がついた (4)</u> ・ 情報でのパソコンのローマ字打ち ・ 家庭での洗濯、アイロン、裁縫

分析とまとめ

<仕事>

- ・ 今回のアンケートでは「これからも現在の職場や福祉サービス事業所で働きたい」と思っている卒業生が非常に多かった。働き続けたい理由としては、一般就労・福祉的就労ともに、良好な人間関係を築けていることが大きく影響している。また、職場や福祉サービス事業所から「意欲があり、遅刻・欠勤がなく真面目に働いている」と評価されている卒業生が多く、もちろん課題も多くあるが、「意欲があれば仕事は少しずつ覚えていける」と温かい言葉をたくさんいただいている。
- ・ 一般就労している卒業生からは、実際に社会に出て働くようになって苦労したこととして、「実習のときにはしなかった仕事を覚えるのが大変だった」「正確性や速さが必要」「相手に分かるように伝えるのが難しく苦労している」「お客様優先で行動しなければならない」など、一人の社会人として給与を貰う立場では、求められる仕事の質や量が実習生のときとは違うことを実感する声が多くあった。また、

「職場の方とのコミュニケーション」「上司との関係、会話」など、職場人間関係に慣れるのが大変だったという声も多かった。今回のアンケートでは「これからもこの職場で働きたい」という回答が多かったが、最初から順調だったわけではなく様々な状況を乗り越えて「ここで働き続けたい」と思えるようになったといえる。

<生活・余暇>

- ・多くの卒業生は自宅で親と生活しており、「まだ、将来の生活の場について考えていない」という回答も多い。金銭管理や生活面の自立について不安に思う記述もあるが、卒業生本人の声としてはそれほど多くはなく、将来の生活をイメージが持てないというのが現状のようだ。
- ・現在の生活について、「困っていることは特にない」という卒業生が多かった。仕事以外で出掛けるときは家族と一緒に場合が多いようだが、買い物やカラオケ、運動、物作り、ゲームなど、自分なりの過ごし方があり、困っているという記述はそれほど多くはない。
- ・本人からは、困っている、心配などの声はあまりないが、保護者は、生活面での自立や、家族以外との交流がないこと、仕事以外の人間関係の広がりがないことについて、不安や心配する声が多くあり、それは保護者アンケートの結果に表れている。

<千歳高等支援学校で学んだこと>

- ・国語では、自己紹介、敬語の使い方、電話の使用の学習、数学では、計算、時間と時刻、お金に関する学習など、一般就労・福祉的就労ともに、仕事や生活に直接的に生かせる学習内容について、役に立っていると感じているようだ。一般就労している卒業生は「給与明細の見方」についても多かった。
- ・作業学習や現場実習、職業の授業、体力づくり、コミュニケーションに関する記述が多く、本校で重点的に取り組んでいる学習内容が、生徒に浸透しているといえる。
- ・卒業生・進路先へのアンケートの中で、「正確に伝えること」に関する記載がいくつかあった。卒業生からは「相手に分かるように伝えるのが難しい」と自分自身の課題として、進路先からは「トラブルの発生時などに、的確に事実を伝えられる能力が必要」との現状が伝えられており、学校生活全体で取り組むのはもちろんだが、各教科の学習でもより重点を置いて学習していく必要がある。